

平成22年度及び平成23年度原子力発電所周辺環境放射能測定結果 報告書について

平成25年3月29日

福島県生活環境部原子力安全対策課

東京電力株式会社福島第一原子力発電所

東京電力株式会社福島第二原子力発電所

平成22年度及び平成23年度に福島県、東京電力株式会社福島第一原子力発電所及び東京電力株式会社福島第二原子力発電所がそれぞれ実施した原子力発電所周辺の環境放射能の測定結果について、年報としてとりまとめましたのでお知らせします。

結果の概要は下記のとおりです。

記

【平成22年度】

東日本大震災発生の前日（平成23年3月10日）までの測定結果は、自然放射能及び過去の核実験の影響と考えられるレベルであり、発電所に起因する測定値の上昇は認められませんでした。東日本大震災発生後は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により、空間線量率の上昇や、環境試料から高濃度のセシウム-137等の人工放射性核種が観測されました。

【平成23年度】

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により、高い空間線量率や、環境試料から高濃度のセシウム137等の人工放射性核種が観測されていますが、連続測定を行った空間線量率と大気浮遊じんは、日数の経過とともに測定値が減少する傾向にあり、大気浮遊じんについては、平成23年10月頃からは震災前と同程度になりました。

（問合せ先 福島県災害対策本部原子力班モニタリングチーム 電話 024-521-1917）